

# 20周年の記念庭園整備

## 浜名湖花博 実行委

# シンボルキャラクター公開

2024年に浜松市西区で開催される浜名湖花博20周年記念事業の実行委員会は、このほど、実施計画を了承した。著名な庭園デザイナーが手がける記念庭園を整備するほか、シンボルマークや新たな記念キャラクターを登場させる。開催約1年前のプレイベントをことし5月の大型連休中に展開し観光客にもPRする。

花博は2004年4～10月に浜名湖ガーデンパークで開かれ、約545万人の来場者を記録した。14年も10周年事業を展開した。20周年事業は浜名湖ガーデンパーク(開催期間24年4月6日～6月2日)、はままつフラワーパーク(同3月23日～6月16日)の2会場で開催される。基本コンセプトに「人・自然・テクノロジー」の架け橋。レイ

クハマナ デジタル田園都市」を掲げ、花や緑に加え、デジタルアートも展示する。デジタル技術は会場運営そのものへの活用も目指す。集客目標はガーデンパークが最大55万人、フラワーパークは40万人の計95万人とした。

## 1年前プレイベント 来月開催

クの入り口付近のエリアに整備される。このほか、会場に整備する多彩な庭園の植栽を準備段階から県民が参画できる機会を設ける。入場料金は会場別に設定し、当日券はガーデンパーク800円、フラワーパーク千円。小中学生はいずれも半額になる。今秋から前売り券を販売する。交通渋滞緩和策として今回も舟運の活用も計画している。

シンボルマークは会場エリアの色分けと連動し、7色の花びらが並んだデザインを採用した。記念事業キャラクターとして、「浜松市の鳥」であるウグイスの妖精「ウグリン」が誕生し、ガーデンパークのキャラクター「のたね」とともにPRに活用する。

プレイベントは5月5、6日にガーデンパークの中国、韓国庭園付近で開催される。東アジア文化都市関連事業として浜松と西国の食が味わえる。

浜名湖花博20周年記念事業のシンボルマーク



浜名湖花博2024 LAKE HAMANA HANAHAKU2024



記念事業キャラクターの「ウグリン」

(政治部・青島英治)